

企業名： 科研製薬

レポート名： コーポレートレポート 2024

### 1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

→理解しやすい

科研製薬は「一人でも多くの方に笑顔を取りもどしていただくために、優れた医薬品の提供を通じて患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上につとめる。」という企業理念のもと「患者さんのよろこび」、「社会のよろこび」、「社員のよろこび」の3つを経営理念の柱としている。それぞれの項目ごとに現状の重要課題が挙げられており、それらに対する KPI の設定や実績値の記述があるためどのように成長していきたいのか理解しやすい。また 2022 年度から「長期経営計画 2031」を掲げており、「画期的新薬の迅速な創出・提供により健康寿命延伸に貢献し続ける企業」、「皮膚科、整形外科領域を中心にグローバルに展開する創薬企業」をビジョンとしている。これらのビジョンは企業理念や経営理念に沿ったものである。その実現に向けた戦略として“3 Xs”を掲げている。1つ目は「研究開発 Transformation」であり、重点創薬3領域（免疫系領域、神経系領域、感染症領域）を中心に世界に通ずる画期的新薬を継続的に上市することを挙げている。2つ目は「海外展開 Transformation」である。具体的には皮膚科・整形外科をメインフランチャイズとした研究開発型企業として海外売上高率の上昇を目指している。3つ目は「経営基盤 Transformation」で、社員一人ひとりがプロフェッショナルとして活躍し、柔軟に変革に対応できる強い組織基盤の確立と効率的なオペレーション構築による企業価値の向上を掲げている。この長期経営計画 2031 においてもそれぞれの戦略の進捗、課題、今後の取り組みが記載されており、現状や将来について理解しやすいと思った。

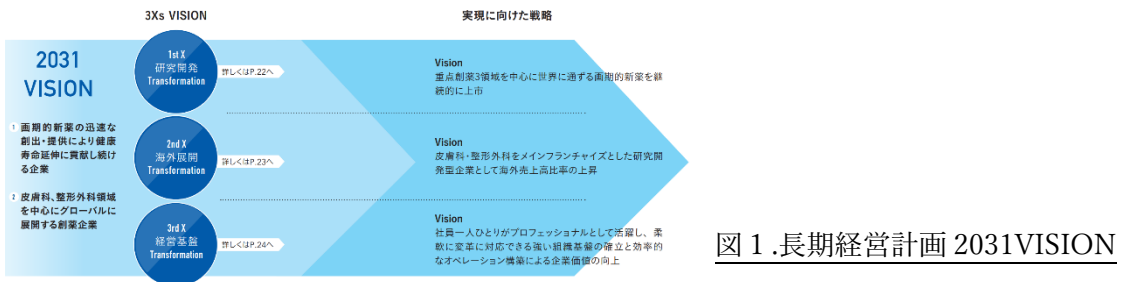


図1.長期経営計画 2031VISION

目標	マテリアリティ	目指すべき姿	実現の妨げは何かを回避し達成したい	KPI		実績値	
				指標	基準	2022年度	2023年度
中期経営計画2025-2027	① 画期的新薬の迅速な創出・提供による健康寿命延伸に貢献し続ける企業	新薬開発型企業として、アンメットメディカルニーズを満たす画期的新薬の創出により、健康寿命延伸に積極的に貢献。	▶P.22	P1 以降の品目数	増幅6品目以上	8品目	8品目
	② 皮膚科・整形外科領域を中心にグローバルに展開する創薬企業	医薬品のグローバル展開に加え、欧米などで使用されている医薬品の導入によるドラッグロス・ドラッグラグ削減に注力。	▶P.23	クレアフィン・エクロック・KP-001等の 上新薬・地域数	(実績値の明示)	クレアフィン:6カ国・地域 (日本、アジア、オーストラリア、韓国、香港、マカオ)	クレアフィン:6カ国・地域 (日本、アジア、オーストラリア、韓国、香港、マカオ)
	③ 医薬品の安定的・持続的供給	患者さんのクオリティ・オブ・ライフ向上のため、機動的な改善開発活動を通じて医療/医薬品アクセスを拡大。	▶P.23	海外展開品目数	増幅3~5品目	2品目 (フィラリス、クレアフィン)	2品目 (フィラリス、クレアフィン)
	④ 医薬品開発の適切な提供	医薬品としての価値を最大化するための、高い倫理観と科学的標準に基づく改善開発活動を実施。	▶P.23	ドラッグロス・ドラッグラグ削減につながる臨床での医薬品の開発数	(実績値の明示)	3品目 (KAB、セザリール、チルダセルフェント)	3品目 (KAB、セザリール、チルダセルフェント)
	⑤ 持続可能な農業への貢献	天然動植物由来の原料により、食の安全・安心確保。環境と調和のとれた持続可能な農業の発展に貢献。	▶P.23	医薬品開発のための共同臨床試験実施件数	(実績値の明示)	7件	5件
中期経営計画2025-2027				供給増上げ数	0件/年	3件	3件
				製品開発件数	0件/年	0件	1件
中期経営計画2025-2027				審査・審査委員会の実施回数	4回/年	4回	4回
				監査実施回数に対する医療関係者からの評価 (満足度)	(実績値の明示)	皮膚科:2位 整形外科:5位	皮膚科:5位 整形外科:7位
中期経営計画2025-2027				グローバル売上高	(実績値の明示)	21カ国・地域	21カ国・地域
				ボリスシンの有価医薬品材料製造の稼働率・生産量および運用稼働率	(実績値の明示)	稼働率:稼働数:3カ国・地域 (アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド) 運用稼働数:約24万回	稼働率:稼働数:3カ国・地域 (アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド) 運用稼働数:約25万回

図2.マテリアリティと KPI、実績値

## 2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

→理解できる

科研製薬は皮膚科領域や整形外科領域といった特定領域に対して高い専門性を保持している。またあるカテゴリーの医薬品の中で最初に認可された新薬のことを示すファースト・イン・クラスを4つ取り扱っている。特に日本人の8人に1人が悩んでいるとされている原発性局所多汗症の疾患認知が広がったことで原発性腋窩多汗症治療剤「エクロック」の需要が高まっている。同社は治療剤を、手を汚さずにそのまま直接患部に塗布できる容器を2023年に発売し、2023年度グッドデザイン賞を受賞したことに加え、本容器に関する特許が2024年7月に登録となった。新薬に関する特許を取得するとその医薬品について独占的には製造・販売することができるため、競争優位性が非常に高いと言える。

## 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

→理解できる

科研製薬の主要医薬品の一つである爪白癬治療剤「クレナフィン」の特許が2025年に切れるため、競争優位性にも影響が生じると考える。しかし上述のようにエクロックの需要が拡大しており、医薬品の海外展開が着実に進んでいる。例えば2023年9月に韓国においてエクロックの製造販売承認申請が提携先の企業から提出された。またクレナフィンは中国において第三相試験を実施中、欧州において製造販売承認申請中となっている。ゆえに競争優位性は持続すると考える。

## 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

→思う

科研製薬は「社員がその仕事に喜びと誇りをもち、活力あふれる存在感のある企業をめざす」ということを経営理念の一つとして挙げており、長期経営計画2031の人事戦略に基づいて人財育成の強化を行っている。その例として教育研修と能力開発の2つが挙げられていた。教育研修では新人社員総合研修や管理者候補研修など階層別研修を行っておりそれぞれの階級において求められるスキルの習得を目的としている。また能力開発の面では階層別研修だけでは補えない個々のスキルアップ、リスキリングを目的として社員が自発的に学べるオンライン学習サービスを導入した。コーポレートレポートには実際の研修参加者の声も記載されており、手厚いサポートであることがうかがえる。またそれ以外にも働きがいのある職場の実現の為にフレックスタイム制や在宅勤務制度の導入、子育て・介護支援、従業員の健康管理なども行っている。さらに従業員の働きがいを把握するための指標として「従業員エンゲージメントレベル」を測る仕組みを2023年度から導入しており、その設問解答や解答についてもコーポレートレポート上で公開している。統合報告書などにおいてエンゲージメントに言及している企業は多いものの、実績値まで公表している企業は少ないため好感が持てる。これらの理由から人的資本の価値向上を達成できる仕組みが数多く備わ

っていると考える。

会社研修	部門研修
マネジメント研修	管理者スキルアップ研修 新任管理者研修 新任チームリーダー研修
次世代研修	管理者候補研修
年次別研修	入社6年次研修 入社3年次研修
社会人基礎研修	新入社員総合研修
	・MR・学術導入研修 ・オープンステージ研修 (2、3、4年次MR・学術研修) ・インターミディエイトステージ研修 (5、6、7年次MR・学術研修) ・アドバンスステージ研修 (8、9、10年次MR研修) ・語学研修

図3.教育研修

研修参加者の声



新入社員  
総合研修 20代

入社してすぐの1週間をととても充実したものでできました。新社会人として身につけておくべきマナーを始め、セルフミッション、自社を組織作る各部署の紹介と、より料研製業の社員であることの自覚を持つことができました。



入社3年次研修  
20代

コロナ禍での入社ということで、MR職以外の同期の方とは直接お会いしたことがなかったので、同期がどういった業務を行っているかがイメージしにくい所がありました。異なる環境にいる同期たちの直面する悩み事や仕事におけるの苦労話を耳にすることで違った視点で今の自分の業務の役割の再確認ができ、さまざまな部署同士が組織として循環していると感じました。

図4.研修参加者の声

項目	設問内容	素点平均 (最低1、最高4)	肯定的回答率 (回答3or4)
従業員個人の仕事に対する 自発的行動、働きがい	仕事に関する勉強や情報収集を自主的に行っている。	2.79	70.3%
	今の仕事をしているときは、気が充実していると感じる。	2.53	53.4%
	仕事では、自分の強み（能力、知識、技能など）を十分に発揮できている。	2.73	66.1%
	自分の仕事は働きがいのあるものだと感じられる。	2.77	67.9%
	小計（平均）	2.70	64.5%
会社への帰属意識	今の会社には、親しみや愛着を感じる。	2.68	64.7%
	今の会社で働くことは、自分の人生にとってプラスになっている。	2.81	72.7%
	中長期的な会社の方針や目指す方向性は明確だと思った。	2.50	53.9%
	会社の企業理念には共感できた。	2.81	75.6%
小計（平均）	2.70	66.7%	
従業員エンゲージメント	合計（平均）	2.70	65.6%

※エンゲージメントレベルの評価尺度（4段階）  
とても当てはまる：4点 ままあ当てはまる：3点 あまり当てはまらない：2点 全く当てはまらない：1点

図5.従業員エンゲージメント

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

<良かった点>

図表が多く含まれていたり、文字の大きさに工夫がされていたりと全体的に見やすいと感じた。また専門用語に関しても説明がされており、医薬品業界に関する知識がない人にも理解しやすい工夫がなされていると思う。また戦略を実現するための KPI だけでなく実績値も記載されており一目で比較できるまとめ方がされている点がとても良いと思った。

<改善点>

サステナビリティ基本方針として人事戦略、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方、環境基本方針が挙げられたのち、それぞれの具体的な取り組みについての記載がされているが、その順番がバラバラである点が気になった。また財務・非財務情報について11カ年分のデータが最後に記載されていたが、主要なデータに関してはグラフで示した方がより分かりやすいのではないかと思う。

## 参考文献

・ 科研製薬株式会社、コーポレートレポート 2024（最終閲覧日 11月15日）

[https://www.kaken.co.jp/invest/library/pdf/annual\\_report/cr\\_2024.pdf](https://www.kaken.co.jp/invest/library/pdf/annual_report/cr_2024.pdf)